

学校園だより

良樹細根

丹波篠山市立
たまみず幼稚園
城北畑小学校
11月の3



園外保育

10日(水)丹波篠山市児童発達支援センターへ行き、運動遊びをさせていただきました。トランポリン、ボールプール、バランスボール、サイバーボール、オーシャンスイング(寝そべて乗ることができるブランコ型)バランス平均台等々、様々な遊具に触れることができました。幼児期の運動遊びの体験は、卒園後の運動能力にも関係します。特に幼児期においては、感覚を成長させることが大切です。バランス感覚、力の加減をコントロールする感覚、スピード感覚、タイミングよく動いたりする感覚等々・・・センター内では、歩く、走る、跳ねる、跳ぶ、すべる、投げる、積む、押す、回る等、様々な動きを体験しました。あっという間に時間が過ぎました。「もっと遊びたい!」との声も聞きました。毎週1回または隔週1回利用することはもちろんできません。今後ともねらいや目的を意識した園での遊びを展開していきます。そして、姿勢を維持し体を支える力や運動を続ける能力を向上させていきます。

幼児期運動指針(文部科学省より)



幼児は様々な遊びを中心に、毎日、合計60分以上、楽しく体を動かすことが大切です。 ●●幼児期運動指針のポイント●●

- ①多様な動きが経験できるように様々な遊びを取り入れること。
- ②楽しく体を動かす時間を確保すること。
- ③発達の特性に応じた遊びを提供すること。



校外学習

「食べるころがあるとは知らなかった。」「わあ!風呂場があるなんて。」「消防の服を着たまま寝るの?」「24時間も?1日中働いているの?」「はしご車が3階まで。そんなに伸びるとはびっくりした。」「消防隊に入って働きたい。」

9日(火)3年生が丹波篠山市消防本部へ行きました。消防車、救急車の説明を受けたり実演を見たりしましたが、そのたびに子どもたちの驚きの声や歓声が上がりました。「百聞は一

見に如かず」とはこのことを言うのかと思います。見学ではたくさんの方のことをメモに取りながら、働いておられる方々の仕事内容を学びました。児童の主なメモは次の通りでした。

- ・ホースから出るのは水だけでなく泡もある・ホースには太さに違いがある・ハシゴを伸ばすと8mになる・水は1.5トン積むことができる・65名の方が働いている・朝の8時半から次の日の8時半までが仕事・1日中仕事している・お風呂に入っているとき火事が起きると、急いで着替えなくてはならない・消防車は3~4人で乗る・救急車は3人で乗る・レスキュー隊は4人で乗る・昨年の火事は21件、救急車出動は1日に大体2.5件・お風呂場にもスピーカーがある

消防署の方から「丹波篠山市の皆さんが安全に暮らせることを願っています。何か起こったら早く助けてあげたいとも思っています。」と最後に言われました。仕事に対する姿勢を感じました。

3年生の学習内容として、消防署や警察署などの関係機関は、地域の安全を守るために、相互に連携して緊急時に対処する体制をとっていることや、関係機関が地域の人々と協力して火災や事故などの防止に努めていることを理解すること、また、見学・調査したり地図などの資料で調べたりしてまとめること、とあります。消防本部で見聞きしたことで、市民の安全や財産を守るために日々のお仕事をされていることが一人一人理解できたのではないのでしょうか。



実験は面白い!

理科は、自然の事物・現象に親しむなど

具体的な体験を通して子どもの身体的な技能や豊かな心情を育むとともに、科学的な見方や考え方の育成を図ることを目指しています。理科学習において、「観察、実験」は極めて重要な活動です。観察、実験は、児童が目的を明確に持ち、その結果を表やグラフなどに整理して考察することで、はじめて意図的、目的的な活動となり、意味や価値をもつものとなります。(学習指導要領より)

4年生の理科の学習内容は、①物質・エネルギー(空気と水の性質、金属、水、空気と温度、電流の働き)②生命・地球(人の体のつくりと運動、季節と生物、雨水の行方と地面の様子、天気の様子、月と星)の2領域です。

閉じ込めた空気を温めたり冷やしたりしたとき、体積は変わるのだろうか? 本時の目標です。ガラス管

をゼリーにさし、真上に引き上げ、空気の入った丸底フラスコにガラス管つきゴム栓をはめます。そのフラスコを湯につけて温めたり、氷水につけて冷やしたりしながら、ゼリーの位置の変化を見ます。お湯につけるとガラス管の中のゼリーが勢いよく上昇し、ポンと外へ飛び出しました。「わあ!!」という驚きに似た歓声が上がりました。氷水にフラスコをつけると、ガラス管からゼリーがポトンと落ちてしまいました。ゼリーが上下へと動くのはなぜなのか? 実験で大切なのは、予想や仮説を立て表現すること、実験の結果から考察し表現すること、さらに体積が変わることを理解することです。目の前で変化が確かめられること、これが実験の面白さです。次回は、水も空気のように、温度によって体積が変わるのかを実験します。



市教育委員会より、市学力・生活習慣状況調査の結果分析報告がありました。注目したいのは、朝、自分で起きる児童生徒が多い学級集団の方が平均点が高い傾向があるということです。朝一番初めに何をすべきか、低学年のうちから自分で起床することです。一日の始まり、大切にしたいです。